

普及現地情報

w発信年月日:令和8年(2026年)1月9日
所属名:大津・南部農産普及課
番号:A25012
発信者名:柴田、籠



集落営農法人の広域連携に向けた先進地視察研修を開催

大津市田上・上田上地域の4つの集落営農法人は、今後の営農継続に向けた広域連携のイメージをつかむため、先進地視察研修を開催しました。

12月16日(火)に大津市田上・上田上地域の4集落営農法人の役員8名と大津市役所、JAレーク滋賀、大津地域農業センターが参加し、甲良町法養寺の(農)サンファーム法養寺を訪問して、代表理事から「甲良集落営農連合協同組合」の設立経緯や取組概要をお聞きしました。

連合協同組合が行っている機械の共同利用、米の共同販売、園芸品目の導入などの取組はメリットが明確であり、各法人から「機械の共同利用をさらに進めていきたい」との声がありました。また、集落外出身の農業大学校卒業生を専従者として雇用し、将来の後継者として育成する取り組みについて熱心に意見交換され、各法人の人材確保に向けた参考事例となりました。

4集落営農法人では構成員の高齢化に伴う人材不足により、将来的な営農継続に不安を抱えています。今後の営農継続に向けた広域連携の検討を進めており、本年度から法人間の防除作業の実施に踏み出しました。今回の視察研修は、連携に向けて一歩踏み出した法人にとって、さらなる連携の具体的な取組をイメージできる機会となりました。

今回の研修を踏まえて、さらなる広域連携が実現できるように引き続き支援を継続していきます。



視察研修風景